

ネットワーク NGO の役割と NGO・ODA 連携に関するアンケート

2017.9.27

アンケートへのご協力、誠にありがとうございます。

本アンケートは以下の 5 つのセクションで構成されています。

- (1) 基本情報
- (2) ネットワーク NGO に期待することについて
- (3) NGO 活動環境整備支援事業のニーズについて
- (4) JICA 草の根技術協力事業について
- (5) 貴団体の活動について

【アンケート回答締切】

2017 年 10 月 11 日 (水) 12:00

【アンケート URL】

<https://goo.gl/forms/Qih9j60KsUMsPezD3>

1. 基本情報

メールアドレス

団体名

アンケート回答者名

役職名

連絡先電話番号

団体住所

団体の財政規模

3,000 万円未満

3,000 万円以上 1 億円未満

1 億円以上 5 億円未満

5 億円以上

2. ネットワーク NGO に期待することについて

2-1 所属する地域別ネットワーク NGO を教えてください (複数選択可)

北海道：北海道 NGO ネットワーク協議会

北海道：(一財) 北海道国際交流センター

東北：(特活) IVY

関東：(特活) 国際協力 NGO センター

関東：埼玉国際協力協議会 (埼玉 NGO ネット)

関東：(特活) 横浜 NGO 連絡会

北陸：(特活) にいがた NGO ネットワーク

中部：(特活) 名古屋 NGO センター

関西：(特活) 関西 NGO 協議会

関西：(特活) 関西国際交流団体協議会

中国： 広島 NGO ネットワーク
四国： 四国 NGO ネットワーク
九州：(特活) NGO 福岡ネットワーク
九州：佐賀 NGO ネットワーク
九州：(特活) 沖縄 NGO センター
いずれにも所属していない
その他 ()

2-2 今後、ネットワーク NGO に貴団体が期待する内容をお答えください (複数回答可)。

a1.政策提言

外務省との対話
JICA との対話
市民への啓発キャンペーン
NGO や ODA に関する調査活動
ODA や NGO に関する提言・ロビイング
特に無し
その他 ()

a2.政策提言・啓発活動で関心のある内容(テーマ)とその背景・理由があれば、ご記入ください。

b1.NGO の支援者拡大／開発教育 (複数回答可)

広報協力 (ウェブサイト、グローバルフェスタ等市民向けイベントの運営)
開発教育 (教育行政・学校への協働での働きかけ、地域でのリソースの発掘等)
特に無し
その他 ()

c1.他セクターとの連携・協働事業 (企業、自治体、労組と NGO の連携等) (複数回答可)

他セクターと NGO のマッチング
他セクターとの出会いの場 (ネットワーク) への参加
特に無し

c2.連携したい他セクター (複数回答可)

企業
自治体
外務省
JICA
他 NGO/NPO
小学校・中学校・高校
大学
特に無し
その他 ()

c3.連携・協働を希望される場合、その内容と背景・理由は何ですか？

d1.NGO の組織強化・人材育成 (複数回答可)

組織基盤のサポート（労務、IT など）
人材育成のための研修実施（テーマ別、対象者別研修等）
アカウントビリティ強化の取り組み（認証制度、アカウントビリティ向上のツール開発など）
特に無し
その他（ ）

d2.NGO の組織強化・人材育成で課題がある場合、その内容と背景・理由は何ですか？

e1.国際協力以外の他分野で活動している NGO・NPO 連携（複数回答可）

環境問題にとりくむ NGO・NPO
貧困問題にとりくむ NGO・NPO
防災・減災にとりくむ NGO・NPO
多文化共生/国際交流にとりくむ NGO・NPO
特に無し
その他（ ）

e2.すでに連携をされている場合、その内容と背景・理由は何ですか？

2-3 今後、ネットワーク NGO に期待する役割について、ご意見があればお書きください。

3.NGO 活動環境整備支援事業のニーズについて

ここからの内容は、外務省が NGO の「能力強化」のために実施している「NGO 活動環境整備支援事業」（N 環）に関するアンケートです。「N 環」は、（1）NGO 相談員、（2）NGO 研究会、（3）NGO インターン・プログラム、（3）海外スタディ・プログラムの 4 つから構成されています。NGO・外務省定期協議会「連携推進委員会」では、これらの事業の制度改善に向けて、以下のアンケートを実施いたします。皆様ご確認の上、アンケートへのご協力をお願いいたします。

3-1：現在、「NGO 相談員」を受託中、もしくは過去に受託したことがありますか

- 1.はい（今年度、受託している）
- 2.はい（現在は受託していないが、過去に受託したことがある）
- 3.いいえ（これまでに申請したことはあるが、受託できなかった）
- 4.いいえ（これまでに申請したことはない）

3-2：現在、「NGO 研究会」を受託中、もしくは過去に受託したことがありますか

- 1.はい（今年度、受託している）
- 2.はい（現在は受託していないが、過去に受託したことがある）
- 3.いいえ（これまでに申請したことはあるが、受託できなかった）
- 4.いいえ（これまでに申請したことはない）

3-3：現在、「NGO インターン・プログラム」制度を活用してインターンを受け入れている、もしくは過去に受け入れていたことがありますか

- 1.はい（今年度、受託している）
- 2.はい（現在は受け入れていないが、過去に受け入れたことがある）
- 3.いいえ（これまでに申請したことはあるが、採択されなかった）

4.いいえ（これまでに申請したことはない）

3-4：現在、「NGO 海外スタディ・プログラム」を活用している、または過去に活用したことがありますか

- 1.はい（今年度、活用している）
- 2.はい（現在は活用していないが、過去に活用したことがある）
- 3.いいえ（これまでに申請したことはあるが、採択されなかった）
- 4.いいえ（これまでに申請したことはない）

3-5：上記の質問 3-1 から 3-4 のいずれかで「いいえ」（3 または 4）を選択した団体の方にお尋ねします。今後、NGO 活動環境整備支援事業を活用したいとお考えの場合、活用したい事業にチェックをいれてください（複数回答可）。もしくは、「考えていない」にチェックをいれてください。

- 1.NGO 相談員
- 2.NGO 研究会
- 3.NGO インターン・プログラム
- 4.NGO 海外スタディ・プログラム
- 5.考えていない

3-6：上記の質問 3-1 から 3-4 のいずれかで「4.いいえ（これまでに申請したことはない）」を選択した団体の方にお尋ねします。申請の障害となっている要因を具体的に教えて下さい。

3-7：上記の質問 3-1 から 3-4 のいずれかで「はい」（1 または 2）を選択し、NGO 活動環境整備支援事業を活用中、もしくは活用したことのある団体の方にお尋ねします。それぞれの事業に関する改善要望があれば具体的にお書きください（広報、応募条件、認められる経費、応募方法、採択プロセス、報告書の形式など、どのような要望でも構いません）。その際、どのスキームなのかを明示するようお願いします。

3-8：上記の質問 3-1 から 3-4 のいずれかで「2.はい（過去に受託していたが、現在は受託していない）」を選択した団体の方にお尋ねします。その理由があればお書きください（例：人員不足、費用対効果が合わない、応募しても採択されない、など）。その際、どのスキームなのかを明示するようお願いします。

3-9：NGO の活動環境を整備し、NGO が抱える課題を克服していくという点で、「こういうスキームがあった方がいい」などのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

4.JICA 草の根技術協力事業について

4-1：JICA 草の根技術協力事業に申請するうえで、スキーム上のハードルや課題は何ですか（複数選択可）。

- 金額
- 事業期間
- 事業内容・テーマ
- 資格要件
- 課題は無い

その他（ ）

4-2: JICA 草の根技術協力事業を申請するうえで、貴団体としての課題は何ですか(複数選択可)。

人員配置

案件形成に係る能力不足

申請方法に係る知識不足

対象地域への理解

課題は無い

その他（ ）

4-3: 上記の 3-1 と 3-2 の課題が解決され事業申請できる環境があれば、どのような案件を申請したいですか? 対象国、分野、案件概要をお書きください。

4-4: 草の根技術協力事業の活用を検討していない場合、その理由は何ですか?

5. 貴団体の活動について

5-1: 現在取り組んでいる代表的もしくは先進的な活動をご記入ください。

5-2: 他セクターとの連携による地域活性化・地方創生につながる活動があればご記入ください。

5-3: 日本の NGO が実施する国際協力をより効果的に実施・推進するための課題と改善点があれば、ご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。

- ・お寄せいただいた情報は厳重に管理し、連携推進委員会および NGO-JICA 協議会に関する業務以外には使用いたしません。
- ・回答いただいた旨を確認するメールはお送りいたしませんので、ご了承ください。
- ・今後の外務省および JICA との協議に向けて準備を進めてまいりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。

【アンケート実施主体】

2017 年度 NGO-JICA 協議会 NGO 側コーディネイター (計 7 名)

池田 誠 / 北海道国際交流センター (HIF) 事務局長

馬野 裕朗 / プラン・ジャパン プログラム部マネージャー

藤野 康之 / セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 海外事業部マネージャー

坂西 卓郎 / 関西 NGO 協議会 理事

中島 隆宏 / 名古屋 NGO センター 理事

長谷部 貴俊 / 日本国際ボランティアセンター 事務局長

山本 英里 / シャンティ国際ボランティア会 海外事業課課長

2017 年度 NGO 側連携推進委員（計 11 名）

浅香 勇貴 / NGO 福岡ネットワーク 事務局員
熱田 典子 / 関西 NGO 協議会 副代表理事
井川 定一 / 名古屋 NGO センター 政策提言委員
市川 斉 / 国際協力 NGO センター 理事
稲場 雅紀 / 市民ネットワーク for TICAD 世話人
今西 浩明 / 国際協力 NGO センター 連携推進委員
折居 徳正 / NGO 安全管理イニシアティブ(JaNISS) コーディネイター
小美野 剛 / ジャパン・プラットフォーム NGO ユニット 副代表幹事
坂西 卓郎 / 神戸 NGO 協議会 運営委員
堀江 良彰 / GII/IDI 懇談会 NGO 連絡会
安達 三千代 / IVY 事務局長

【お問い合わせ先】

NGO・外務省定期協議会「連携推進委員会」NGO 側事務局
NGO-JICA 協議会 事務局
特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター (JANIC)
Tel: 03-5292-2911 / Fax: 03-5292-2912
E-mail: advocacy@janic.org (担当：堀内・大蔵)

< 補足 メールに記載 >

ネットワークNGOの役割とNGO・ODA連携に関するアンケート

1. アンケート実施目的

ネットワークNGOの役割：

今年度のNGO-JICA協議会の年間テーマである、「ネットワークNGOの活用活用促進を通じた地域におけるNGO、JICAの協働体制について」および「JICA草の根技術協力事業の案件の質の向上と裾野拡大に向けて」を協議する際の基礎資料とし、各ネットワークNGOが、現在の会員サービスの改善及び、新規サービスの検討を行うこと。

NGO・ODA連携：

NGO・外務省定期協議会「連携推進委員会」において、NGO活動環境整備支援事業の改善に向けた提言に活用すること。